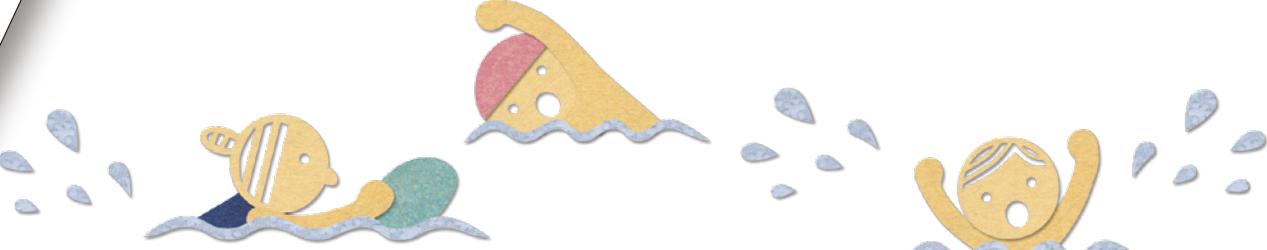


## スイミングは4年生で習うべし



皆さんにはお子さんに習い事をさせていますか？我が家は三人の子供たちもそれぞれそれなりに習ってきてました。その中で確立してきた私のモットーは、「送り迎えが必要な習い事はない」「見学は基本的にしない」「月謝を払っていることを一旦忘れる」それでもダメだなと思ったら辞めてしまふ」などなど。熱心に取り組むお子さんをお持ちなら、意味が分からりませんよね（笑）。

うちの長男の初めての習い事は幼稚園年長で始めたスイミング。私は乳児の次男をおんぶして、三歳の長女の手を引いて、長男を教室に連れて行っていました。観覧席で妹と弟をあやしたり追いかけたりお菓子で釣ったり。静かにさせようと必死なこともあります。温水プールのボイラーハガたら暑く感じて汗だく。家に帰れば、お風呂や夕食に追われ、スイミングの日は私がぐつたりでした。

それでも上達してくれれば、苦労

と飛び込ませてしまったのです。別のプールでも立て続けに。溺れていたわけではないのですが、監視員さんにお礼を言い、親子共々「やはり習うべきか」と思ったのでした。

四年生で帰国してから教室に通い、またバタ足から。すると今度は飛び級しながら進級。進級ワッペンの縫い付けを毎月頼まれるなんてことが、我が家にも起つたのです。「ほかのお母さんってこんな気持ちでワッペン縫つたのねん」と、やり。

長女も四年生になってからスイミングを始めました。同じ級にいる子たちはずっと学齢が低く、最初こそ体格的に目立っていましたが、ぐんぐん進級すると気持ちいい！運動が苦手な長女が、自ら六年生まで続け、今でも水泳だけは自信あります。

「水泳を習うなら四年生」の法則、大発見では!?と興奮しつつも、次男は試しに一年生で習わせてみました。長女と一緒に二人で通わせれば、行

いますか？我が家は三人の子供たちもそれぞれそれなりに習ってきてました。その中で確立してきた私のモットーは、「送り迎えが必要な習い事はない」「見学は基本的にしない」「月謝を払っていることを一旦忘れる」それでもダメだなと思ったら辞めてしまふ」などなど。熱心に取り組むお子さんをお持ちなら、意味が分からりませんよね（笑）。

うちの長男の初めての習い事は幼稚園年長で始めたスイミング。私は乳児の次男をおんぶして、三歳の長女の手を引いて、長男を教室に連れて行っていました。観覧席で妹と弟をあやしたり追いかけたりお菓子で釣ったり。静かにさせようと必死なことがあります。温水プールのボイラーハガたら暑く感じて汗だく。家に帰れば、お風呂や夕食に追われ、スイミングの日は私がぐつたりでした。

それでも上達してくれれば、苦労

に感じないのですが、それがさっぱり。一年通つてほぼ進級せず。レッスン中はふざけてばかりでコーチの説明は聞かず、水に浮かんでくるくるくるくるくる。ラッコか！まわりの子はどんどん進級して、水泳帽のワッペンが増えていきます。観覧席には同じ幼稚園のお母さんたちもいるわけで、「うちは来週から平泳ぎだから時間が変わる。会えなくなっちゃうわ」とか言われるのです。

そう、一番のストレスはほかの子と比べてしまうこと。ある日「やめよっか」と、退会手続きをして帰ってきました。

その後長男は小学二～三年生をブラジルで過ごしました。ブラジルでは水泳の授業もなく、泳ぎ方を知らないまま。それでもプールは好きでよく家族で遊びに行きました。本人はクロールのつもりのあつあつぶ泳ぎ。その泳ぎがブラジル人のマッチョな監視員さんの血相を変え、ザバッ

き帰りもなんとなく安心、という作戦です。たまに見学に行くと、まあ案の定、次男はひどかったです。真面目に練習しないのは想定内ですが、パンツを脱ぎ忘れて水着の下に履いたまま。ズルズル、モタモタしちゃうて泳げないとか。ただ、次男の場合私は送り迎えの負担がないので、なぜか笑い話で済ませてしまいます。

しかも普段は見学しないので、まわりの子と比較もしません。たとえ遠くに評判がいい教室があつたとしても、自分で通える近場の教室でうちに評判がいい教室があつたとしてよかつたなと思う点です。

タイに来てからも別の習い事、しますよ。それはまた次の機会に。

**文・写真  
小宮華寿子**  
二男一女の母で  
編集者。「プラ」と  
「ジルの手しごと」  
(メイツ出版)著者。世界の雑貨と  
ワークショップの店「マルカジニョ」  
(https://mercadinho.net)代表。

**イラスト・  
デザイン  
寺沼麻美**  
切り絵作家、時々  
デザイナー。「ゆ  
らゆらゆれる北欧風手作りモビ  
ール」(ネコ・パブリッシング)を監修。